

重症胃腸炎の予防のため

ロタウイルスワクチン

を接種しましょう！

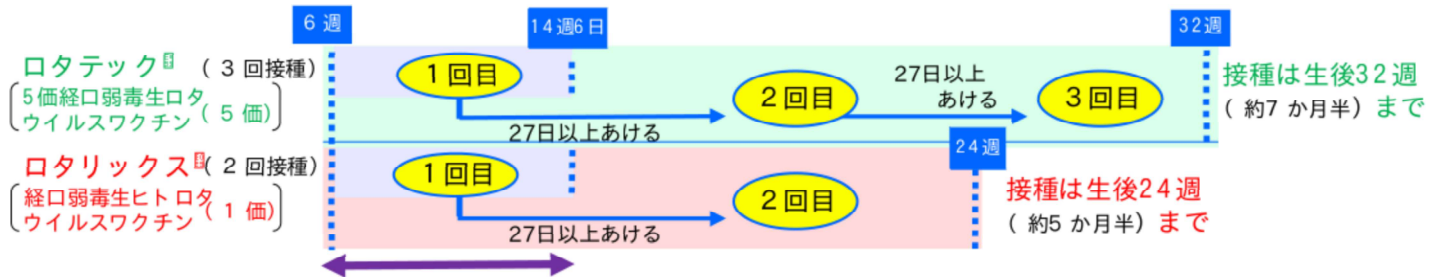
■ ロタウイルスワクチンの初回の接種は、
生後6週（約1か月半）から **生後14週6日**（約3か月と10日）
までの間に受けてください。

■ 生後2か月で接種するワクチンが1つ増えました。

- B型肝炎ワクチン
- 小児肺炎球菌ワクチン + **ロタウイルスワクチン**
- ヒブワクチン

▶ ロタウイルスワクチンには2種類あり、同様の効果があります。

■ 2つのワクチンは接種回数が異なります。最初に受けたワクチンと同じ種類を接種してください。



初回接種は、生後6週から生後14週6日までに受けてください！

※2回目以降の接種は生後14週6日の前後いずれでも接種できます。

▶ 接種後は「腸重積症」^{ちょうじゅうせきしょう}に気をつけましょう。様子が気になったらすぐに受診しましょう。

- 腸重積症は、腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気で、速やかな治療が必要です。
- ワクチンの接種にかかわらず、3か月～2歳くらいまでの赤ちゃんがかかりやすい病気です。
- ワクチン接種後（特に初回接種後）1～2週間くらいの間は、かかりやすくなると報告されています。
- 次のような様子が一つでも見られるときは、医療機関を受診しましょう。
 - 「突然はげしく泣く」
 - 「嘔吐を繰り返す」
 - 「便に血が混じる」
 - 「ぐったりして顔色が悪い」
 - 「機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す」

※ 月齢が進むと、腸重積症にかかりやすくなります。できるだけ腸重積症の起こりにくい早めの時期に接種を受けましょう。初回接種を生後15週以降に受けることはお勧めしていません。

